

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: http://www.konbukuroike.com

2024年9月

第125号

主な予定

9月29日(日)

水上 陽誠

大堀川わくわくハイキング

9:00~9:40

ラコルタ縁日「柏にある“ヒミツの森”を知っている!?” イベント開催報告

2024年8月25日(日)に教育福祉会館ラコルタ柏(以下「ラコルタ柏」)にて開催された、柏市社会福祉協議会主催の“ラコルタ縁日”に、こんぶくろ池自然の森として初めて出展参加しましたので、参加に至った経緯とともに開催結果について報告します。

10月19日(土)

せっけんの街

<経緯・企画段階>

ラコルタ柏は「2021年4月にリニューアルオープンした中央公民館と総合福祉センターからなる複合施設(ラコルタ柏ホームページ紹介記事より)」であり、柏市役所及び柏市立図書館に隣接した施設です。(写真①)

10月29日(火)

カシニワツアー

11月9日(土)

柏の葉公園戦跡ツアー

14:30~15:15



写真①-1 (ラコルタ柏外観)



写真①-2 (ラコルタ柏内部)

11月17日(日)

柏市主催 環境イベント

“ラコルタ縁日”は、夏休み期間であることを踏まえ子供向けイベントを中心とした内容で開催されるもので、柏市社会福祉協議会(以下「社協」)が、様々な活動団体に参加を呼びかけて、昨年度より始まったものです。筆者の個人活動により社協とのつながりができ、社協からラコルタ縁日への参加打診を受けました。

当NPO理事会において、ラコルタ縁日の趣旨および出展企画の提案を行い、参加可否について審議を諮り、参加の方向で決まりました。正式に参加の申請を行うにあたりイベントタイトルを付す必要がありましたので、子供たちの注目を集めることを意識したキャッチーな「柏にある“ヒミツの森”を知っている!?”というタイトルにしました。

開催の約1か月前に、割り当てられた出展会場（会議室）の下見を行い、会議室に常備されている机や椅子、ホワイトボードの数とこれらの位置を確認しました。企画段階では「昆虫標本の展示と顕微鏡」を中心に考えていましたが、会場の広さに余裕があることから「昆虫・植物・鳥の写真掲示」、「生きた虫の観察」、「工作物の展示」も追加することにしました。

<開催結果>

開催日時は8月25日（日）、時間は13時から16時までの3時間でした。外はニューノーマル化しつつある晴天猛暑日でしたが、イベントは屋内開催でしたので、熱中症の心配は軽減できました。

当NPOスタッフ（6名）は10時に集合し、設営準備を開始しました。作業中、来場者の動線、目線に適した写真の掲示位置や机等の配置をスタッフ同士で相談しつつ微調整を行いながらもスムーズに進行し、11時半頃に完了しました。会場内に設置されたホワイトボードに会員のお子様が可愛らしい鳥などのイラストを描いてくださったことで、より良い雰囲気を作り出されました。（写真②）

また、社協を介して他団体から協力の申し出があり、こんぶくろ池の出展会場までの通路に花や植物をモチーフにした飾り付けがなされ、華やかな誘導路となりました。（写真③）



写真② (会場)



写真③-1 (誘導看板)



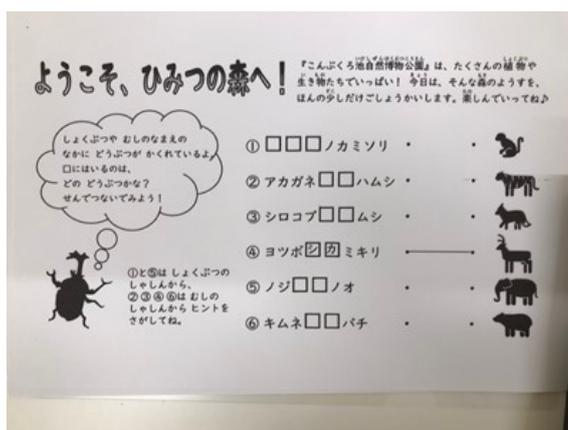
写真③-2 (飾り付け)

開会13時をややフライング気味に来場が始まり、その後は絶え間なく多くの方々が訪れ、終了時間16時を過ぎても賑やかさが続きました。

- 「こんぶくろ池に行ったことがある！」とスタッフに話しかけてくる子供たち
- 「こんぶくろ池、聞いたことがあるが、まだ行ったことがなかったね！」と会話をする親子
- 「柏にこんな所があったとは！」と驚き、興味を持たれた大人の方々

校外学習でこんぶくろ池を訪れた子供たちも多かったようです。徳永さん発案の「写真鑑賞しながら動物、昆虫、植物の名前を当てるクイズ（写真④）」が、子供たちに大好評で、掲示された写真の中から名前を楽しみながら一所懸命に探し回る様子が微笑ましく、イベントを一層盛り上げるツールとなりました。

社協からの速報によると、ラコルタ縁日来場者総数は延べ400名弱とのことでした。



写真④ (クイズ様式)

<反省点と改善策>

イベント自体は事故等もなく安全に適切に運営でき、成功だったと思います。来年も参加できることを期待して、個人的な視点でのいくつかの反省と改善策についてまとめてみました。

① クイズ正解者へ景品があると良かった。

→こんぶくろ池のバッジやペンダントを用意してはどうか。

② クイズ回答記入用の机またはハンドバインダー (板) があると良かった。

→記入用バインダーをこんぶくろ池の伐木材で製作できないか。(廃材活用のアピールにならないだろうか。)

③ 本イベントに来場する子供たちは園児クラスが多かった印象。背丈・目線が低いため、机上の標本鑑賞は難しい。

→脚台 (これも伐木材で製作) を用意できないか? もしくは、標本展示を止めて、木工イベントにするのも一案かもしれない。(他団体のブースでは工作系イベントが多く、子供たちの関心を惹きつけていた様子が見られた。)

<まとめ>

開催直前まで、初のラコルタ柏での当NPOイベント開催であることへの不安に加え、イベント時間が3時間と短いことが気になり「物足りないのではないか?」、「果たして来場者数はどのくらいだろうか?」と心配が尽きなかったが、それは全くの杞憂であり、多くのご家族が訪問してくださり、子供たちも笑顔いっぱい楽しんでいる様子が見られ、結果は大成功だったと思います。また、社協との連携や他団体との交流を深める機会にもなったことは、当NPOとしても非常に有益だったと思います。特に柏市社会福祉協議会には広報活動 (チラシ作成・配布)、適切な会場割り当てといった多大なご協力をいただきました。この場をお借りして謝意を表します。

最後に開催当日の午前から準備作業に携わっていただいたスタッフの皆さま、終了後の撤収作業にご協力いただいたスタッフの皆さま、ありがとうございました！できればラコルタ縁日への参加を継続し、当NPO恒例イベントの1つとなることを望みます。

以上

今月も3月24日（日）に東京大学柏キャンパスで行われた、2023年度こんぶくろ池保全活動報告会で発表された内容をご紹介します。

コバギボウシとキンランの開花株数調査

1- はじめに

市民による園路の拡張や設置が開始された2006年から、開花株数調査が開始され継続している。そのうち、コバギボウシとキンランについては、2011年初版「千葉学ブックレット 都市と自然環境-4市民の力で湧水自然を守る・柏市こんぶくろ池物語」に記載された「完全に林冠が閉鎖した暗い林内ではなく、林冠のところどころにすき間（ギャップ）があるやや明るい光環境が、コバギボウシやキンランの生育に適しており、**それ以外の植物の多様性をも高める**ことを意味しています」との研究成果に基づき、コバギボウシを湿性環境、キンランをコナラの優占する落葉広葉樹二次林の生物多様性の豊かさの指標として、経年変化を調査している。

2- 方法

こんぶくろ池及び弁天池を中心とする北地区を、弁天湿地、こんぶくろ湿地、その他の3地区に分け開花株数を数えた。

調査日：キンラン 2023年4月23日（計16名）

コバギボウシ 2023年8月5日（計9名）

3- 結果

3-1. キンラン：結果を図1に示す。図2下のトピックスも参照されたい。

- (1) 「その他」エリア南東で2010年頃産廃業者撤退後に開花株数が増加し、ここ数年開花株数が安定している。
- (2) 2022年の増加について以下2点が要因かもしれない。
 - ① 2020年にナラ枯れが発生し、2022年度末までに21本が枯死し、対応策として51本が伐採され林内にギャップが生じている。
 - ② 2021年9月に、中央6地区で藪化した林縁の除草を行った。
 - ③ 弁天水路沿いの「キンラン街道」では2019年をピークにその後減少が続いている。

3-2. コバギボウシ：結果を図2に示す。

- (1) 弁天湿地で増加した。2022年冬季のササ刈りおよび2023年春季の整備が増加の要因かもしれない。
- (2) 地金堀の湿地で、開花株数が減少している。一方、地金堀が緩く北に蛇行する辺りの北側岸では、カサスゲが増加傾向にある。

図1 キンラン開花株数

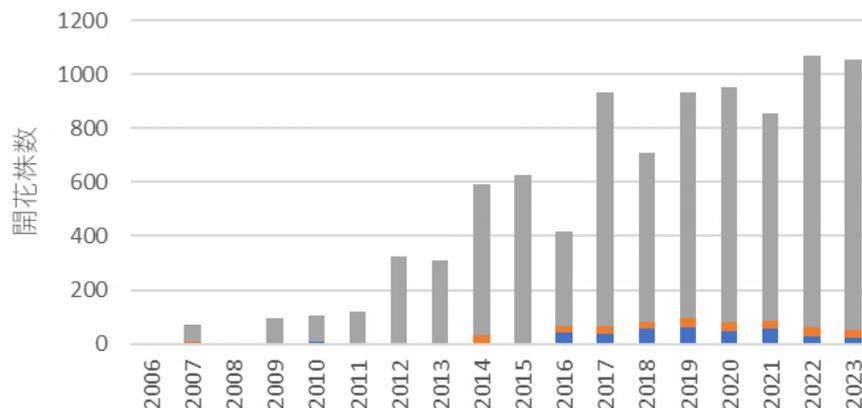
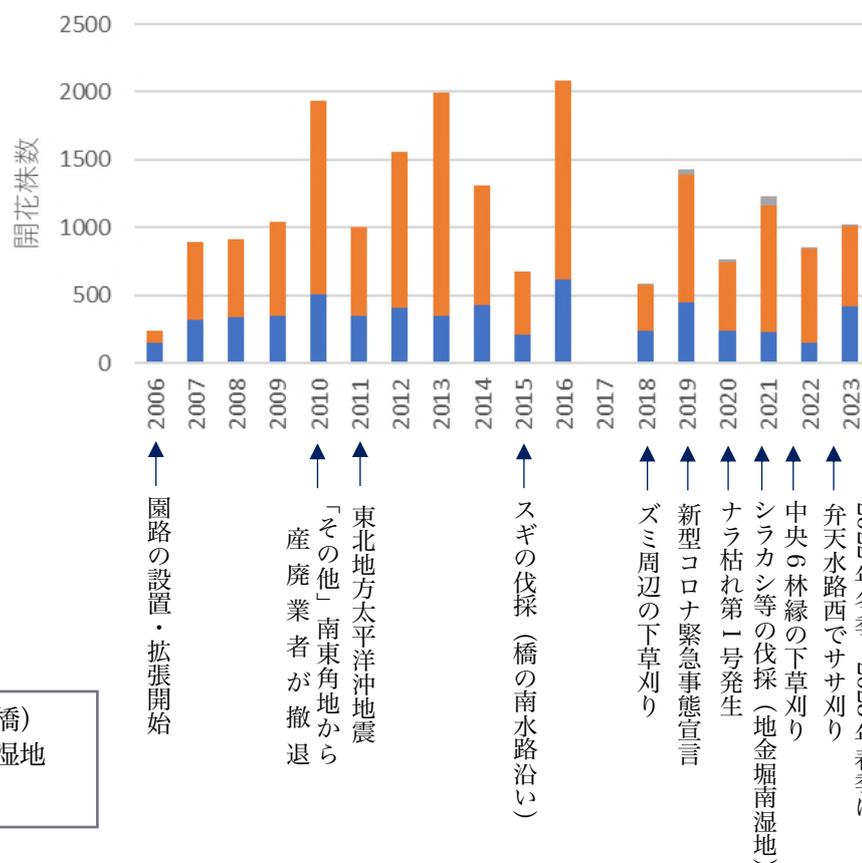


図2 コバギボウシ開花株数



■ 弃天湿地：水路両岸（弃天池～橋）
 ■ こんぶくろ湿地：地金堀両岸の湿地
 ■ その他：上記以外の北地区

※2024 年度結果追記

- 調査日：キンラン 2024年4月28日（計15名）、コバギボウシ 2024年8月3日（計6名）
- キンラン開花株数は合計1,286株。2023年度の1,052株よりも234株増加した。各調査区で増加している。
- コバギボウシ開花株数は合計1,191株。2023年度の1,027株よりも164株増加した。弃天湿地では236株増加したが、こんぶくろ湿地では減少が続いており昨年より今年は144株減少した。

担当者：上田真佐江（文責） 橋本谷弘司

令和六年夏季こんぶくろ池句会・歌会作品集

世話人 松田 和生

俳句の部

妖精のドレスのフリルに百日紅	あおはもゆ
ツウーイツィと規則正しく目高の子	あおはもゆ
手突き上げ胸膨らませ青田風	あおはもゆ
子育てや植えて始まる野菜苗	安曇野人
鳥声と若葉の会話聴くベンチ	安曇野人
この暑さ鳥の鳴き声弱音なり	安曇野人
夏空や天地を統べるマザーツリー	木下勇二
草刈りし跡振り向けばまた伸びて	木下勇二
脳髄に鐘鳴り止まず原爆忌	清美
夏祭り射的の腕はまだ達者	清美
てんとう虫背中を開けて踊りだす	昇笑
鳴き声が上手な声は夢だった	定丸弘樹
新緑に静寂染み込む雨上がり	定丸弘樹
涼しげに水面飛び交うトンボかな	中川望
旧盆の読経とまごうセミしぐれ	中川望
猛暑にもめげずに伸びる草たちよ	中川望
ふるさとの潮風に鳴る蝉しぐれ	まさえ
ツクツクボウシ止んだ夜空に白き月	まさえ
朝採れのトマト手で拭きかぶりつく	わらしべ

短歌の部

こんぶくろグッズ売り場でキビタキの キーホルダーがいとかわいらし	定丸あかり
ヒグラシのはかなき声を夕暮れに 諸行無常心に響く	中川望
パリ五輪世界は一つと言いつつも やはり気になる日本のメダル	中川望
中卒後「会いたかった」と言の葉を 交わすあなたは後期高齢者	ノー・ボール
真夜中にみるはパリオリかぐはサボテン その名は儚いナイトクイーン	ノー・ボール
夕暮れにヒグラシの声こだまする もの悲しいかな盃蘭盆の森	秀夫
大輪の煙火のあとの静けさに ドローン煌めく夜空のアート	秀夫
涼みつついつの間にやらまどろみぬ 遺影の母が微笑んでいる	まさえ
想念に生きる君ゆえ君にして 君にあらずも永久の面影	吉川億空
あの日より我にひとりの思い少女（びと） 森脇瑤子胸に生かしむ	吉川億空
蚊は森を吾が縄張りと思うらし 虫よけスプレーに負けじと攻撃	わらしべ

あしがき

歴史に残る暑さにもめげず、作者それぞれの持ち味を生かしたオリジナリティとリアリティが光る多数の作品の応募がありました。

今回は、自然の森の仲間、延べ12名の方から俳句十九句、短歌十二首に及ぶ作品が寄せられました。

作者の皆さんは、全員が全くの素人から始めています。未投稿の読者のみなさんもここで思い切って俳句・短歌の道へ一歩踏みだしてみませんか。きっと新たな世界が開かれることでしょう。

次回は秋季（9月～11月）になりますが、思い立ったが吉日、事務所前の投稿箱の他、世話人あてのメールやメモでも結構ですので応募をお持ちしています。

8月理事会

(日時) 2024年8月24日(土) 10:00～12:30
 (場所) 管理棟
 (出席者) 議長(理事長): 萩原
 出席者(理事) 中川・徳永・上田(書記)
 (顧問) 岡本

1. 審議検討・確認事項

- (1) (11/3)「市民活動フェスタ in 柏の葉」への参加準備状況について
 - ・ 当NPOは展示スペースとしてテント半張を使用する
 - ・ こんぶくろ池自然博物公園および当NPOを知っていただくために、木工品などの展示、リーフレット、活動体験会やイベントのチラシ設置を予定。
- (2) (11月開催)ワークショップイベントについて
 - ・ どんぐりクラフトなどのメニューで11/24(日)13:00～14:30にワークショップを実施する方向で、海野さんを中心に詳細を検討する。なお、ワークショップ内容としては、葉っぱスタンプも行うことも検討する。
 - ・ 参加費300円。
 - ・ 近隣駐車場の使用を依頼
- (3) 「民話の会」よりのイベント開催依頼について
 - ・ 上記イベント(2)と同日11/24の14時開始を先方に打診する。
 - ・ 柏市よりの公園使用許可が必要。
- (4) (10/20(日))きのこ観察会の準備状況について
 - ・ 「広報かしわ(10月号)」に案内記事掲載
 - ・ 9月以降のスケジュール等の情報を共有した
- (5) (10/27(日)、11/2(土)、11/17(日))「里山の保全活動体験会」の開催について
 - ・ 「広報かしわ(10月号)」掲載記事(案)を公園緑地課に提出済(7/29)
 - ・ 案内チラシ内容を検討した
 - ・ 9月以降のスケジュール等の情報を共有した

- (6) ナラ枯れ被害木調査の実施について
 - ・ 調査結果の報告期限は9/13（金）
 - ・ 調査実施状況等についての情報を共有した
- (7) 9～10月活動計画
 - ・ 情報を共有した
- (8) 9月の通信記事
 - ・ 情報を共有した

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

新入会員紹介



中川 ^{かいり}海里くん

参加動機：トカゲや虫がたくさんいたから

趣味・好きなこと：折り紙、工作

取り組んでみたいこと・分野：泥かき、タケノコ駆除等

ひとこと：これからもよろしくお願いします。



黒須 ^{かいと}海斗くん

参加動機：景色が好き

趣味・好きなこと：昆虫

貢献できそうなこと：公園整備

ひとこと：カブトムシやクワガタをつかまえたい